

危険物混入による火災爆発事故が多く発生しています

ガスボンベ等の圧縮缶、発火性の製品、電池類、薬品及び劇物類などの爆発発火しやすい危険物が廃棄物の中に混入されたことが原因で、収集運搬や廃棄物処分の過程で火災爆発事故が発生していることはご存知でしょうか。

収集運搬車両や廃棄物処分場での火災爆発事故の多くは、可燃性ガスが残ったボンベやスプレー缶、電池・薬品などが廃棄物の中に混入されていることが原因です。

このような事故を未然に防ぐためにも、廃棄物の中に危険物を混入されないようご協力をお願い申し上げます。

なお、ガスボンベ等はガス抜きをして頂ければ資源物としてリサイクルできます。

缶に穴を開けてガスを抜いてから廃棄して下さいようお願い致します。

(爆発発火しやすい危険物)



このイラストは経済産業省のごみイラスト素材集を使用しています。



ガス等が残ったまま廃棄をするのは危険です。
廃棄の際にガス抜きをして頂ければ資源物としてリサイクルできます。

Earth Day Tokyo 2014

アースデイは今から約40年前の1970年に始まり地球環境を考える日として全世界に広まりました。

去る4月19日、20日の2日間に渡り東京代々木公園で『アースデイ東京2014』が開催され、環境問題にちなんだ展示や体験ブース、有機野菜を使用したフードコート、アーティストによる音楽ライブなど多彩な催しもので訪れた約10万人の来場者で賑わいました。



安全パトロールを実施

弊社の安全委員会が安全パトロールを実施しました。

今回は弊社処分場の搬入車両を対象に保護具の着用、過積載、マニフェスト伝票、産廃許可証写しの携帯等をチェックしました。今後も定期的実施していきます。



まちだエコ宣言に参加



東京都町田市がクールビズや緑のカーテンなど環境にやさしい取り組みを行なっている企業を対象にして市民に紹介をする制度「まちだエコ宣言」に弊社も賛同し4月に登録しました。弊社が取り組む活動は、作業車ばかりではなく営業車両も含めた全ての車両のエコドライブの実施と社員一人一人が電気ガス水道などの省エネ推進をしていくことです。今後「まちだエコ宣言」に積極的に取り組み環境にやさしい企業を目指します。



シリーズ サンリョウの仕事 ~ 排水管清掃 ~

排水管内に油粕等が付着し堆積すると、排水の流れが悪くなりやがて閉塞したり悪臭の原因となったりします。

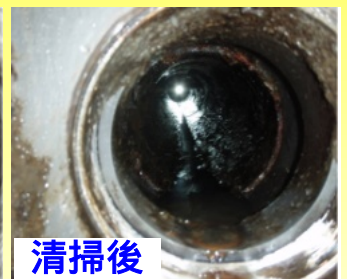
それを防ぐためには、定期的に排水管内を清掃する必要があります。今後気温の上昇とともに、排水管の清掃や詰まり直しのご依頼が多くなります。夏の最盛期を迎える前に、排水管清掃をされることをお勧めいたします。

《お問合せ先》

担当：古舘（フルタチ） TEL 042 - 726 - 2647



清掃前



清掃後

神奈川県産業廃棄物収集運搬業の許可を変更しました。変更点は積替保管の許可がなくなり、許可番号が変更となりました。

旧許可番号 01412008292 (積替保管を含む。)

新許可番号 01402008292 (積替保管を除く。)